

外国人の地域おこし協力隊の事例

基本情報



【年齢】
38歳
【出身地】
中国吉林省
【転出元】
東京都北区
【前職】
医療通訳
【活動時期】
R4.5～

協力隊に応募したきっかけ

神社・寺院巡りが好きで、友人の案内で香取神宮を訪ねたことがきっかけで佐原地区とご縁ができ、何度も訪ねるうちに、好きな着物が似合う街並みが大好きになりました。さらに香取市はじめ北総エリアの自然や歴史にも興味を持ってきたところで、地域おこし協力隊隊員募集を知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

香取市の歴史や文化を国内外へ発信していきたいと思っています。インバウンドの復活も期待できるので、具体的に企画して都内や海外から人を呼び込み、香取市ファンを増やし移住定住に繋げて参ります。さらには企業誘致なども積極的に取り組んでいきます。将来的には香取市や北総エリアの魅力を発信して、内外のネットワークで地域の活性化に繋げていきたいと思っています。

活動内容

●地域PRイベント

香取市の魅力を多くの方に伝えるため、日ごろから様々な活動を行っています。最近では、JR東日本臨時列車「やまどり号」「特急あやめ祭り号」のお出迎えやお見送りに、ご当地ゆるキャラと共に参加させていただき、香取・佐原のおもてなしやPRをさせていただきました。



●地元高校生を対象としたワークショップの開催

ユネスコ無形文化遺産にも登録されている佐原の大祭の際に、地元高校生向けのまちづくりのワークショップとして、高校生に浴衣の着付をして、大祭の来場者を対象とした扇子の絵付体験や休憩所としてのおもてなしなどを一緒に行いました。



●空き店舗活用

市内の空き店舗活用促進として、都内で人気の飲食店（中華料理）を誘致。何度も香取・佐原をご案内して地元への愛着を持っていただき賃貸契約が成立しました。市内には本格的な中華料理店が少ないため伝統的な町並みと中華のコラボが楽しみです。



連絡先

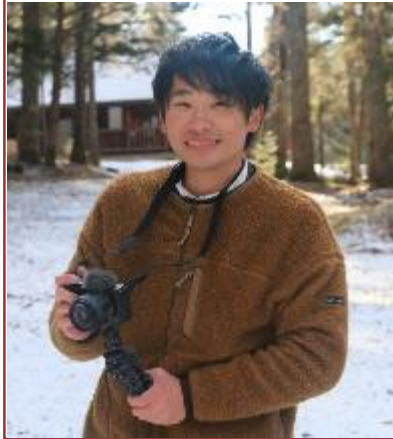
【メディア等の取材連絡先】

E-mail: sawara_machi@yahoo.co.jp （電話番号） 0478-54-7766

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

<https://www.facebook.com/katori.kyoryoku>

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
香港
【転出元】
奈良県 生駒市
【前職】
会社員
【活動時期】
R3.8～ R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

北海道の大自然の美しさを世界多くの人に伝えたいからです。移住する前に、数回に渡って北海道の大自然の景色やアイヌ文化などの魅力に惹かれ、目の前の景色に感動しました。釧路市では釧路湿原や阿寒湖、また世界三大夕陽といった自然景色の宝庫です。自分の語学力を生かしながら1人でも多くその感動を実感して頂きたく、多くの観光客が釧路市を訪れるよう貢献したいと考え、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

アドベンチャートラベルのメイン顧客層である欧米豪に向けての認知度向上や旅行者対応できる環境整備に取り掛かりたいと思います。阿寒湖をはじめ、道東全体の日本離れする自然と異文化をより多くの人に楽しんでもらえるように尽力したいです。

活動内容

●アドベンチャートラベル（AT）の推進

主に欧米豪の旅行者に支持され、近年市場規模が拡大している観光分野である「アドベンチャートラベル（AT）」を当地域で推進するために、地域の観光資源等の調査、ガイドスキルの習得、地域内外の事業者とのネットワーク構築、外国語及び日本語を活用した観光情報発信等を実施。



●ATツアーの企画、商談等によるビジネスネットワーク構築

当地域の観光資源を実体験に基づき調査し、ATツアーとして7泊8日程度のモデルコースを作成。ATの国際的な団体ATTAが主催する世界最大のイベント「ATWS」やオンライン商談会等により、世界各国のATバイヤーとビジネスネットワークを構築。



●海外旅行者向けAT情報発信

InstagramやYouTubeにより、海外AT旅行者に向けて当地域のATコンテンツをPR。ひがし北海道の様々なコンテンツを実際に取材し、地域の魅力や楽しみ方を、日帰りや2泊3日のモデルコースとして仕立てて発信。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) ernest@lake-akan.com (電話番号) 0154-67-3200

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) https://www.instagram.com/arctic_japan/



基本情報



【年 齢】
28歳
【出身地】
中国 山東省
【転出元】
大阪府 大阪市
【前 職】
民間企業
【活動時期】
R3.9～

協力隊に応募したきっかけ

1. 自然風景が満喫できる田舎に移住したいと思いました。
2. 友達が別の地域の地域おこし協力隊に着任して、優しく温かく対応されたので、私に薦めてくれました。
3. 夕張市は高倉健さん主演の映画「幸福の黄色いハンカチ」のラストシーンのロケ地であります。私は大学の時にこの映画を見て、とても印象に残っていました。

今後の抱負・任期後の目標

1. 自分のインバウンド知識と経験を生かして、異文化交流をもっと促進したいと考えています。
2. ビデオ編集、情報発信などのスキルをもっと上達して、よりアクティブな観光促進に繋がりたいです。
3. 任期後の目標については、まだ詳しく決まっていりませんが、人文知識、国際交流分野の方向で考えています。

活動内容

●中華水餃子手作り体験会

中国のお正月と日本の正月の時期はずれていて、食べ物の風習なども違います。これをきっかけとして、夕張市民の方々に中華圏の一番大きな祝日を紹介したいと思いました。

水餃子の手作り体験と中国の春節関連の文化に関して、地元の住民たちとコミュニケーションをとりました。



●夕張市内外PRイベントの参加及び取材、情報発信

1. R4夕張観光物産展in都庁 (6/14～6/21)
2. R4夕張観光物産展in横浜 (6/28～7/1)
3. 第1回夕張バリバリメロンラン (07/03)
4. ゆうぱり国際ファンタスティック映画祭 (07/28)
5. R4北海道そらちグルメフォンド (8/21)
6. さっぽろオータムフェスト (09/09)
7. 紅葉祭り (シューパロダム+滝の上公園) (10/16)



●夕張市内観光施設に観光案内、市HPに情報更新

1. R4年度観光シーズンに、道の駅夕張メロードと「幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば」にて観光案内を行いました。
2. 夕張市公式ホームページにて桜と紅葉の見ごろを紹介する「桜前線」と「紅葉便」のページを運用し、情報発信を行いました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
夕張市地域振興課商工観光係
(メールアドレス) ybrsyo@city.yubari.lg.jp (電話番号) 0123-52-3128
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

QRコード



Facebook

夕張市地域おこし協力隊

Instagram
yubarichioko



基本情報



【年 齢】
34歳
【出身地】
台湾 台北市
【転出元】
埼玉県 上尾市
【前 職】
東京都浅草ホステルのフロント
【活動時期】
R2 . 10～ R5 . 9
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

求人情報サイト、ハローワークの求人情報

今後の抱負・任期後の目標

FBだとどんどん古い投稿情報は見えなくなるので、将来的に投稿の内容を整理して自分のホームページを作成したいです。そうすると自分にも記録になるし、台湾のお客様も観光などの情報を探しやすいです。

稚内市に向けて、実際に住んでる私と観光にくる台湾人の「何に興味があるのか」「どんな希望があるのか」などの意見を提出することで、これからの観光の発展に繋がると考えています。

都会からの人たちが知らない地元の名産品を認識してもらうために、ホタテとウニの殻を再利用して体験をしました。

「日本最北」の思い出を、旅行客自身が作成して持ち帰ることで、稚内の思い出を作ってもらいたいと思っています。

今後のインバウンド回復期に向けて、台湾での現地PRなども行いたいと思っています。

活動内容

●FBの運営

- FBの「台湾人・北海道最北端生活」というページで稚内の日常を台湾人に向け2言語で発信しています。
- 旅行したいけど行けない。そんな台湾人に稚内の「今」を届けており、フォロワーは9,300人を超えています。



●ホタテ貝殻絵付け・ウニで小物作り体験

- 稚内の名産であるホタテ貝殻に絵付けをする体験コンテンツを提供しています。
- 今年からはウニの殻で風鈴などの小物を作る体験コンテンツを企画・造成しました。
- 観光の隙間時間に体験できるため、バスや列車を待っている観光客の皆さんから好評を得ています。



●インバウンド向けサイト作成

- 台湾人が行う旅行に関する情報収集はWebが主です。
- そのため、台湾向けの日本旅行情報サイトに掲載する文章を作成しています。
- また、稚内公式観光情報サイト記事の翻訳(繁体中国語)もしています。
- 台湾から来稚するインフルエンサーのアテンドなども行っています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス) kankokoryu@city.wakkanai.lg.jp

(電話番号) 0162-23-6468 (職場: 稚内市観光交流課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】

<https://www.facebook.com/taiwanwakkanai/>

基本情報



【年 齢】
36歳
【出身地】
ベトナム
【転出元】
富山県射水市
【前 職】
通訳者
【活動時期】
R2.4～ R5.3
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

求人サイトで募集情報を見かけて、興味を持ちました。外国人の立場から企画を提案したり、ベトナム語・英語で情報発信をすることによって、町の観光PR力が向上するとともに自分の言語能力も向上できると考え、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

安定した仕事は、スキルの向上、様々な知識の習得につながり、自分自身が会社・団体の役に立ち、貢献していることを実感できることだと考えており、日本で安定した仕事が継続できれば、将来家族を日本へ迎えようと思っています。

活動内容

●町外における特産品販売

町のPR活動として、札幌市において雄武町特産品の販売活動を行い、来場したお客さんへの商品説明・レジ業務等を担当しました。(5月…ホテルポールスター札幌、8月…札幌ドーム)



●町内開催イベントのサポート

新型コロナウイルス感染拡大のため中止が続いていた「雄武の宝 うまいもんまつり」が、9月25日、3年ぶりに開催されました。チラシ作成などの準備作業、祭り当日は観光協会の活動(「雄武牛焼き」の販売、「ちゃんちゃん焼き」の無料配布)を行いました。



●雄武町フォトコンテストのサポート

5月1日～9月30日に作品を募集し、10月下旬に結果発表した2022年「おうむを写そう」フォトコンテストにおいて、ポスター制作、写真の申込受付や投票準備を行いました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

雄武町観光協会 (電話番号) 0158-85-7234

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(雄武町観光協会) <https://welcome-oumu.hokkaido.jp/>

基本情報



【年 齢】
31歳
【出身地】
中国黒龍江省東寧市
【転出元】
長野県松本市
【前 職】
大学院生
【活動時期】
R2.4～R5.3
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

学生時代に足寄町にある九州大学北海道演習林に研究のため毎年来ていました。足寄町の豊かな森林や北海道の文化、オンネトーや雌阿寒岳のような観光資源となる手つかずの大自然は故郷にも通じるところがあり、足寄町の素晴らしさを、国内外の人たちに知ってもらい、多くの方々に足寄町に訪れ、体験して欲しいと考えるようになりました。そのとき足寄町が募集していた「インバウンド対応、エコツーリズムの推進」のための協力隊募集は願ってもないチャンスだと思い、すぐに応募しました。

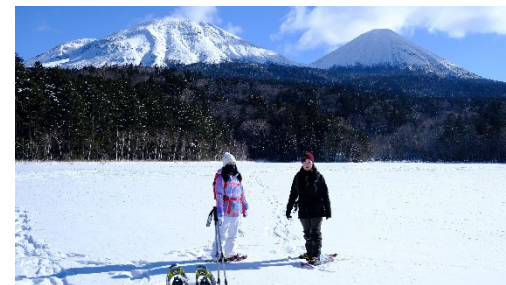
今後の抱負・任期後の目標

今年度が最終年度で、これから阿寒摩周国立公園にあるオンネトー地区の維持管理を担えるように、今は色々な現場業務の引継ぎを受けています。これからも足寄町に残り、オンネトーに関わる事業を行っていきたいです。そして、日本の永住権取得も考えています。インバウンド需要が戻れば、中国人や韓国人向けのツアー商品づくりやガイドの会社を立ち上げ、将来的には宿泊もできる施設も作ってみたいですね。

活動内容

● ツアープログラム開発

オンネトーは四季ごとに楽しみ方がありますが、道路が冬期閉鎖する冬はあまり活用できていません。スノーシューガイドツアーなど、安全に楽しめるツアーが実施できると思い、プログラム開発に取り組んでいます。森林の知識を生かした春～秋のツアーも考えています。



● 町広報誌連載「キンコンカンコー」

足寄町民に、私の活動を通して足寄町の観光について知ってもらうため、広報誌に隔月で連載しています。現場で活動しているからこそ分かるオンネトー地区の自然解説やその時期ごとのイベントなどを紹介しています。



● オンネトー地区管理業務（見習い）

オンネトー一國設野営場を含む現地の管理人が高齢のため、後継者となるべく、様々な維持管理業務を覚えているところです。阿寒摩周国立公園にあるオンネトー地区は現地の自然を理解しなければできないことが多いです。何世代も先までこの自然を残しながら、利活用もできるよう日々勉強しています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) →



基本情報



【年 齢】
44歳
【出身地】
オーストラリア
クイーンズランド
【転出元】
三重県三重郡菟野町
【前 職】
フォトグラファー
【活動時期】
R4.4～（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

自然や四季の移り変わりが好きで、今まで行ったことのない場所に行ってみたく思っていた時に、雫石で自分の仕事でもあるフォトグラファー募集を聞いてやってみたく思った。

今後の抱負・任期後の目標

雫石、岩手はまだ海外からの認知度が低いのでこの素晴らしい自然、人との関わりをより多くの人に知ってもらいたい。

そして町全体が海外の方が訪れた時に過ごしやすい、また来たいと思っていただけるように改善が必要な箇所を変えていきたい。

活動内容

●キャンプシーンの撮影

人気の高いアウトドア、キャンプの様子を撮影、インスタなどのSNSに投稿し、雫石、岩手でできるアウトドアの楽しみ方を紹介する。



●カフェレストランの紹介

雫石、その周辺で楽しめるカフェやレストランなどを取材、撮影・インスタなどのSNSに投稿し紹介する。



●イベント紹介

雫石、岩手、東北で楽しめるイベントや祭りなど、海外の方が興味を持てるようなコンテンツを取材、撮影・インスタなどのSNSに投稿し紹介する。



連絡先

Eメール : kankou@town.shizukuishi.iwate.jp

IG : @visit_shizukuishi

Pete Leong Photography FACEBOOK page

: @peteleongphotography

基本情報



【年齢】
36歳
【出身地】
台湾
【転出元】
東京都 江戸川区
【前職】
旅行ガイド・企画
【活動時期】
R2.8～R5.7
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

個人旅行の観光客は益々増えていますが、東北地方の情報量は少ないと思っています。地域の魅力を発見し国内外に発信したり、またガイドの経験と母語を活かしたいと考え、応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

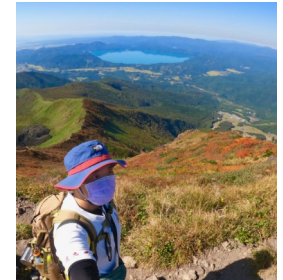
地域の視点で考え、地域マネジメントに繋がって持続可能な旅行プラン作りを実現します。

また、冬の拠点としているたざわ湖スキー場の訪日外国人等に対する知名度が十分ではないため、スキーとスノーボード等のウィンタースポーツに興味がある訪日外国人への情報発信を図りたいです。

活動内容

●自然と伝統行事を取材、海外に発信

素晴らしい自然と伝統文化（祭り等）を有する仙北市、惜しいのは情報が少ない点です。現在YoutubeとInstagram 2つを使って発信しています。Instagramは週4回、Youtubeは撮影から動画編集まで時間がかかるため、月1つもしくは2つの動画を投稿してます。



●スノーボード、スキーインストラクター

ウインターシーズンはたざわ湖スキー場でインストラクターやパトロールの業務を中心として活動しています。写真は、母語を活かして、海外の方にスノーボードを教えている様子です。



●たざわ湖スキー場各大会のサポート

ウインターシーズン、たざわ湖スキー場は様々な大会を開催します。去年は、全日本マスターズスキー選手権秋田たざわ湖大会が開催され、大会コース整備及び大会終了に伴う撤収作業などをサポートしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) co-de@city.semboku.akita.jp (交流デザイン課)
(電話番号) 0187-43-3301 (交流デザイン課)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
仙北市地域おこし協力隊フェイスブック
<https://www.facebook.com/sembokurashi/>
Youtubeチャンネル (左側QRコード)
がっこちゃっころラジオ (右側QRコード)



基本情報



【年齢】
34歳
【出身地】
台湾 台中市
【転出元】
埼玉県 鴻巣市
【前職】
旅行会社係員
【活動時期】
R2.2～R6.1
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

ちょうど旅で朝日町に来て、翌年ワーキングホリデービザで日本の田舎で働きたいことと旅行会社で勤めていることを町民に話して、それからその町民の紹介で地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

日本も台湾も高齢化の問題があって、特に田舎方面で若者達が仕事のため都会に移住しますから、町の存続問題になっております。それで今まで旅行会社で働いた経験を活かして観光経由で田舎で新タイプの仕事を作って、若者を地方に呼び返して欲しい。国際交流とビジネスのうちにも地方文化存続の維持をしたいことが私の抱負です。

活動内容

●町の魅力を発信

台湾人向けのSNSで観光スポットやイベントの情報などを配信しています。町の日常、農作業、風土文化などを実際に体験し、台湾人目線で町に興味を持ってもらえるよう紹介しています。



●ブloggerとの交流

台湾の旅行ブloggerに町の魅力を紹介しています。ブloggerやファンとオンラインで交流し、関心のあることなどを聞いてツアーコースを提案しています。



●観光案内

町を訪れる台湾人観光客の案内や通訳をしています。町民と観光客が交流し、会話や体験を通して思い出を作ってもらい、また来たいと思うような案内を心がけています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(電話番号) 0237-83-7111 (職場)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
<http://marutravel1989.blogspot.com/>

基本情報



【年齢】
28歳
【出身地】
台湾 宜蘭県
【転出元】
台湾 宜蘭県
【前職】
会社員
【活動時期】
R3.4～ R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

2018年に教育交流の視察で、台湾側の小学校の先生と一緒に初めて最上町を訪れました。その後も、小学校の交流活動へ協力をし続ける以外にも、最上町で夏季と冬季の文化体験交流のイベントを開催しました。たくさん打ち合わせを行う中で、国際交流に興味を持ち、地域おこし協力隊に着任して、台湾との国際交流をしたいと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

台湾と最上町の小学校との国際交流を継続して行っていきます。

活動内容

●コロナ禍でのオンライン交流 国際交流の集い

台湾宜蘭県日本友好交流協会と最上町を繋ぐオンライントークショーを開催しました。宜蘭県の紹介や宜蘭県日本友好交流協会の紹介のほか、最上町での思い出やこれから目指すべき交流の方向などをオンライントークの中で話し、交流しました。

●最上町ガイドブック（日本語版/繁体中国語版） 最上町の魅力20選の作成

長引くコロナ禍により、台湾・宜蘭県との直接的な相互交流がままならない状況のなか、今後における“ウィズコロナ”を見据えた取り組みとして、観光や文化、物産面等の積極的なインバウンドの展開にむけた情報コンテンツの充実・発信が極めて重要であると認識します。現状の課題に対応するため、最上町内の自然や食文化、物産、歴史、生活文化等の魅力あるインバウンド資源を、外国人(台湾の人々)目線で紹介するガイドブックとして、情報誌の制作・発行しました。



●令和3年度 新庄・最上ジモト大学プログラム 日台地元PRプロジェクト～MOGAMIから你好～の開催

高校生が地元のPR動画を作り、台湾の日本語学校の生徒に新庄最上を紹介しました。オンラインでお互いに地元の魅力や文化をPRし、台湾文化を学びつつ、楽しみながら交流が行われました。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.facebook.com/mogamimachi.chiikiokoshi>

基本情報



【年齢】
29歳
【出身地】
ロシア
【転出元】
徳島県徳島市
【前職】
会社員（インターナショナル保育園）
【活動時期】
R2.11～

協力隊に応募したきっかけ

徳島市内に住んでいた時、趣味のサーフィンやハイキングなどを楽しむために県南エリアに何回も通っていて、アウトドアフィールドや自然環境の魅力に深く感動し、いつかは「県南エリアに住んでみたい」と思っていました。

もっと多くの徳島の自然文化などを体験し、世界中の人に徳島を知ってもらいたいと思い、外国人地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

徳島の魅力発信など観光に関する仕事に興味を持っています。また、教育にも興味があり、任期後はどちらかの仕事に携わりたいと思っています。

活動内容

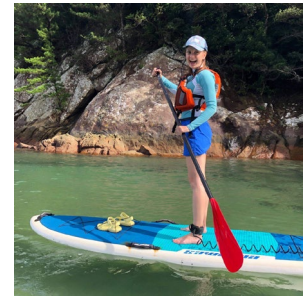
●徳島県公式英語版SNSによる情報発信

徳島県公式の英語版SNS（Facebook・Instagram）「Deep South Tokushima」を活用し、徳島県南部の観光スポットやアクティビティなどを実際に体験し、外国人ならではの目線で県南部の魅力を発信している。



●徳島県公式YouTubeチャンネルによる情報発信

徳島県公式のYouTubeチャンネル「みぎアゲTV」にユーチューバーとして出演し、外国人の関心を高める内容の企画提案や動画製作等により、体当たりで「四国の右下」の魅力発信に取り組んでいる。



●海外旅行者向けファムツアーなどの企画提案やアテンド

通訳ガイドやツアーオペレータの経験を活かし、外国が魅力的に感じるツアー企画の提案や実際にツアーに同行し、現地ではアテンドとして、参加することで、地元事業者と参加者（海外観光客）との交流の架け橋となる役割を担い、ツアー参加者の満足度向上につながる取組を進めている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nanbu_c_m@pref.tokushima.jp
（電話番号）0884-74-7354
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



基本情報



【年齢】
34歳
【出身地】
カナダ レッドディア市
【転出元】
徳島県佐那河内村
【前職】
ALT（佐那河内村教育委員会）
【活動時期】
R3.11～

協力隊に応募したきっかけ

徳島県に来て4年間生活をした佐那河内村では、地域やそこに暮らす人々に魅力を感じました。そこで、この魅力を海外に向けて発信したいと思い、ビデオプロジェクトを企画しました。
このような活動を「にし阿波」でも継続したいと考え応募しました。「にし阿波」の観光スポットを紹介するため、写真撮影やPR動画の制作、SNS投稿などの活動で、情報発信を行っていきます。

今後の抱負・任期後の目標

「にし阿波」での情報発信を通じて、メディアづくりや翻訳のスキルを高めていきたいと思っています。また、地域の皆さんと交流しながら、いろいろなことに協力しながらチャレンジしていきたいと考えています。
任期終了後もここでの経験を大切にし、日本の情報を発信をする仕事を続けたい。

活動内容

●SNS情報発信

徳島県西部圏域「にし阿波」は、大歩危・祖谷などの景勝地や脇町うだつの町並みなどの歴史的な景観など魅力的な観光地が多くある地域です。国内外からの観光誘客を進めるため、この素晴らしい自然や歴史・文化をSNSで世界に発信しています。



●商談会で通訳業務

コロナ禍前は「にし阿波」の自然や歴史・文化に魅了されて多くの外国人が観光に訪れていました。アフターコロナに向けて、もう一度たくさん海外から観光客に訪れてもらえるよう、オンラインやリアルでの商談会を通じて旅行会社やメディアに「にし阿波」の観光情報を伝えています。



●ファムツアーのアテンド

「にし阿波」を訪れるファムツアーのアテンドを行っています。「にし阿波」の素晴らしい観光地を直接、旅行会社の皆さまに見てもらって旅行商品の造成、販売につながるよう取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） seibu_c_my@pref.tokushima.jp
（電話番号） 0883-76-0374
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram） https://www.instagram.com/hidden_tokushima/
（Facebook） <https://www.facebook.com/hiddentokushima>

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
ドイツ
【転出元】
奈良県北葛城郡上牧町
【前職】
ホテルのハウスキーピング
【活動時期】
R3.7~R5.6
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

妻が同じミッションの協力隊である。
八代海に浮かぶ「うたせ船」を見て、携わりたいと思い、応募した。
募集については、町のホームページで知る。

今後の抱負・任期後の目標

観光うたせ船をはじめ、芦北町の景色のすばらしさや、観光スポットなどSNS等を使いながら、知名度を上げていきたい。
任期後は、外国人目線で芦北の観光PRを行いながら、御立岬公園の仕事をしたり、小さい小売店等を経営したい。

活動内容

●芦北町観光PR

観光うたせ船をはじめ、町内の素晴らしいスポットをSNSにアップし、多くの観光客が芦北町に来てもらえるように今後外国語観光パンフレットを作成します。
また、取材依頼があれば積極的に芦北町の宣伝をしていきたいと思います。



●御立岬公園管理

今芦北で一押しの観光スポット「御立岬公園」の第2キャンプ場「星の森」がオープンしました。
ここのキャンプ場や、ゴーカート場などをお客様が気持ちよく利用してもらえるような接客を心掛け、今後増えていくインバウンドへの対応をしていきます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kankou@town.ashikita.lg.jp
(電話番号) 0966-82-2511(芦北町役場 商工観光課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook「芦北町地域おこし協力隊」

基本情報



【年 齢】
47歳
【出身地】
アメリカ合衆国
ニューヨーク州
【転出元】
東京都 稲城市
【前 職】
客室乗務員（現職）
【活動時期】
R3.4～

協力隊に応募したきっかけ

社内で地域おこし協力隊の募集があったため。客室乗務員として各都道府県に派出していることを知っていたことと、アウトドアが好きであったため募集要項に合致していると感じた。

夫が宮崎県小林市に在住しており、宮崎県への移住を選択肢のひとつとして考えていたため。

今後の抱負・任期後の目標

「えびの高原」というとても魅力的な観光地と豊かな自然に囲まれた恵まれた地をもっと多くの方に知ってもらえるよう効果的なPRをしていきたい。
宮崎県ではあるが鹿児島県の方が近いという特徴もアピールし、ANA（所属会社）とも協力し知名度を上げる活動に貢献したい。また地域に根差した起業も視野に入れ活動していきたいです。

活動内容

●アウトドアに関するPR活動

「アウトドアシティえびの」を掲げるえびの市では多くのアウトドアアクティビティを有し、提供しています。女性ならではの視点、県外者からの視点を持って自分自身が体験したものをSNS等で発信しています。



●観光・物産振興に関する活動

「田の神さあ」や「えびの高原」といった定番の観光地だけでなく、自分自身がこれは良いと思った地元の隠れたスポットをTV番組、ラジオなどを通じて紹介。物産展等にも参加し、「えびの市」の認知度を上げる活動をしています。



●地元事業者との連携、お土産品開発

「えびの市」の認知度向上を目的に、地元住民・事業者の方と協力してお土産品開発を実施しました。一から商品を作りあげ、半年で市のブランド認証を受け、宮崎空港でも販売を開始しました。「何もない」という消極的な住民の意識を変えて盛り立てること目的に活動しています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなどのURL】
<https://www.instagram.com/ebinocity.kyoryokutai/>
<https://www.facebook.com/ebinokyoryoku/>

基本情報



【年齢】
44歳
【出身地】
フランス
【転出元】
東京都豊島区
【前職】
日系メーカー海外営業
【活動時期】
R3.4～R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

糸満市に移住を検討希望があり、応募主に次の4点

- ①観光者としての魅力：自然が美しい
- ②市民としての魅力：自然環境ではなく都会の利便性
- ③社会人としての魅力：農漁業が強く、大手企業がなく、起業家の町だとの印象（SDGsを推進するのに適している）
- ④親としての魅力：糸満市は子供が好きという印象（学校、公園、図書館、医療機関などが整備されている）

今後の抱負・任期後の目標

任期中
現地の事業者を軸に地域の海人文化をテーマに欧米人向けの5泊以上アドベンチャーツアーを確立し⇒モニターツアー実施⇒持続性のある商品を観光協会から発売する。
任期後
インバウンド向けのアドベンチャー・トラベルの地域コーディネーターとして、個人事業を開業するのが目標。現段階で地域の業者との信頼関係を強化するのが最も力が要する任務。

活動内容

●インバウンド向けのアドベンチャー・ツーリズム商品の開発

地域に貢献するインバウンド観光の開発販売が地域の課題。そこで、アドベンチャー・ツーリズムの商品を開発している最中。昨年研修を受けて、地域の「海人文化」をテーマに商品開発中である。今年度中にモニターツアーを実施計画中。



●観光商品向けのグリーンスローモビリティの展開

地域おこし協力隊としてのミッションはインバウンド観光でありながら、新しいモビリティの手段（グリーンスローモビリティ）も利用して新しい商品開発に挑戦している。



●広報誌等に市民向けのコラム

地域おこし協力隊 X 外国人 の目を見た移住先（糸満市）を市民向けに発信することによって、地域を明るくする。18回の絶賛月刊コラムを書いています。月3万部以上の広報誌。他にテレビ取材、PV出演、インタビューなど実施



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook)

<https://www.facebook.com/chiikiokoshi.itoman/>



基本情報



【年齢】
38歳
【出身地】
台湾 新北市 板橋区
【転出元】
日本 熊本県 熊本市
【前職】
熊本県
海外展開コーディネータ
【活動時期】
R1.10～R4.10

協力隊に応募したきっかけ

2019年2月、台湾・基隆で開催された「県南・八代物産フェア」にて、初めて水上村産のお米と出会い、とても美味しく試食させて頂きました。約¥2000/キロの高値で設定されたにも関わらず、ほぼ完売という素晴らしい結果でした。

この結果をどうにか続けたく、もっとたくさんの方々に水上村産食品を召し上がって頂きたい気持ちで、同年8月、水上村の地域おこし協力隊に応募致しました。

今後の抱負・任期後の目標

広大の山地を持ち、生産できる食材と食品は山ほどあると確信しました。とりあえず、生産性が高く、採算性が良く、付加価値が付けやすい3～5項目のものを定めて行きたいです。時間をかけても、任期終了後も、村産商品を定番化へ最善を尽くして参ります。

任期後、もし定番化が見込まれましたら、起業して、増量生産をしながら、商品の一つずつ最適な販路へ導いて、販路拡大と共に、海外市場も視野に入りたいです。

活動内容

● 試食や試飲販売などの販路開拓サポート

海外での「県南・八代物産フェアin台湾」でも、県内での「緑化くまもとフェア花畑広場」でも、出展の他社より高い売上を獲得し、一人も多くの来店者へ当村の特産品を知ってもらい、今からのコロナ緩和後の観光誘致にも繋げると思います。



● 生産や製造工程の検証、商品開発の実行

自然栽培のタケノコ・加工品も、二次加工のシカニク・ソーセージも、自分の手で作ってみて、生産過程の理解を強化し、製造工程を検証するためでした。今後の販売や営業にはより紹介ができて、次回の商品化にはもっと適切な製造改善を提案できるように下積みをしております。



● 既存の村産商品の販路開拓と新規営業

県内外の和洋飲食店、食品製造者、及び小売転売社へ満遍なく村産商品を紹介し、まず売れ筋の可能性を探って、多数の販路を確保します。販路開拓により最低の卸売数量を確定できましたら、村生産者にも相談しやすく、計画を組みやすいと思います。今後の新規営業の基盤になります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(職場番号) 0966-44-0312 水上村役場地方創生推進課

基本情報



【年齢】
34歳
【出身地】
カンボジア
【転出元】
兵庫県神戸市
【前職】
パン屋
【活動時期】
R4.4～ R7.3
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

パン屋の開業を目指し、日々神戸できっかけを探していました。しかし、子育てと資金面の問題もあり、中々その一歩を踏み出せずにいた時に「川南町でパン屋開業を目指しませんか？」という1本のYouTubeを目にした事がきっかけとなり、協力隊への応募を決断。
必要とされる町で、自身の作ったおいしいパンを食べてもらいたい。その一心で川南を訪れました。

今後の抱負・任期後の目標

2023年の移動販売を目指し、現在作業場の確保へと動き始めています。任期後には、本格的にパン屋として自立・開業し、1人でも多くの方に自分の作ったパンを食べてもらい、知ってもらふ活動へと繋げていきたいと思いながら、日々活動しています。

活動内容

●パンの試作及び販売

パン屋開業に向け川南の食材を活かしたパンの制作を行っています。令和4年7月17日には自治公民館で開催された産業文化祭に初めてのパン販売を行いました。商品は揚げパンやクリームパンなど計6種類のパンやクッキーを販売し、午前中で完売するほど大盛況でした。



●ドーナツ教室の開催

令和4年10月7日、19日の2日間川南小学校5年生を対象としたドーナツ教室を開催しました。小学生が育てたもち米を使ったドーナツ教室は協力隊として初めての試みでした。にぎやかな雰囲気で行われたドーナツ教室は子どもたちにとっても好評でした。



●ハンバーガーイベント向けバーガーの試作

令和4年11月13日に川南町で開催されるハンバーガーイベント「ガブリびより」でかわみなみ地域おこし協力隊としてハンバーガーを販売する予定です。バンズも一から試作し、川南町の名産品のマグロカツを使ったハンバーガー試作しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) k-chiikiokoshi@town.kawaminami.miyazaki.jp
(電話番号) 0983-27-8002

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(協力隊ブログ：移住定住サイト内) <https://life-kawaminami.jp>
(インスタ：toron.baton) (FB：宮崎県川南町地域おこし協力隊)

基本情報



【年齢】
41歳
【出身地】
インドネシア
【転出元】
宮崎県 都城市
【前職】
エンジニア
【活動時期】
R3.4～R6.3
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

肝付町でインドネシアの野菜またはハーブを有機栽培で挑戦をし、インドネシア飲食店開店と食品加工販売をしたいと考えています。又、肝付町在住のインドネシア労働者支援の取り組みをしたいと考えています。

今後の抱負・任期後の目標

- ※ 有機野菜とハーブを利用して、インドネシアまたはアジア料理飲食店を開店
- ※ 外国人向けホストファミリーの取り組み

活動内容

●外国人の文化交流

地域の小学校でインドネシアの文化紹介や肝付町在住のインドネシア人とのバドミントン交流の開催、日本語勉強会の実施、地域の観光地または特産品のアピールをSNSで発信



●地域農業などの人手不足の解消

- ※ 地域の農家の方のご協力により栽培・販売ノウハウを見習い
- ※ インドネシア人実習生をサポート



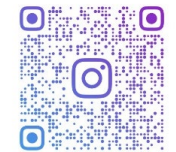
●インドネシア料理の開発

自然栽培野菜やスパイスと特産物を利用したインドネシア料理や調味料を開発しています。地域の方々にインドネシア料理の試食会を実施しました。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook : Yudika Ergiyanto



YUDIKA_ERGIYANTO

基本情報



【年齢】
24歳
【出身地】
インドネシア
【転出元】
大分県別府市
【前職】
なし
【活動時期】
R3.11月～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

私は、竹田市の経済的、文化的、社会的発展に貢献できる外国人、特にインドネシア人のコミュニティを作りたいと考えている。日本人と外国人と一緒に竹田市を上げていく姿を見ることができるのは、とても良い機会だと思う。

今後の抱負・任期後の目標

外国人技能実習生の受け入れを継続的に支援し、竹田市での実習生の生活や仕事を可能な限りサポートしていきたいと考えている。また、竹田市の国際的なコミュニティを常に向上させることを目指している。

活動内容

●外国人技能実習生受入業務従事

技能実習監理団体として、竹田商工会議所が取り組んでいる「外国人技能実習生」受入事業に従事する。海外から規律と情熱を持った若い実習生を受け入れることで、労働力を必要としている企業の手助けをすることを狙っている。



●技能実習生入国後講習担当

竹田商工会議所では、約1ヶ月間、入国した実習生に日本の生活習慣やルール、マナーについての指導をし、今後実習先での実習が少しでも円滑に進むことを目的として講習を行っている。



●ランゲージ交流ルーム

担当者として、様々な活動を通じて、外国人と日本人が交流し、互いの言語や文化を学び合う機会を提供することを目指している。活動は毎週水曜日の夜、竹田交流プラザで行っており、年齢、性別、経歴に関係なく、誰でも参加できる。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) Lenardi@taketa-cci.or.jp
(電話番号) 0974-63-9018

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(竹田商工会議所) <https://www.taketa-cci.or.jp/>



LINEはこちら

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
ベトナム（ゲーアン署）
【転出元】
鹿児島県鹿児島市
【前職】
大学院生
【活動時期】
R4.7月～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

日本に来てからは8年目です。学生時代には、在鹿児島ベトナム人会と共に、鹿児島県民とベトナム人住民を結ぶ活動に努めていました。卒業後は、勉強した知識、また得た経験や体験などを活かせる仕事が第一の希望でした。そして、7年間優しく育ててくれた鹿児島に大恩返ししたいから、鹿児島で働きたいとずっと思っていました。そのため、大崎町への多文化共生の推進を目的に協力隊員になりたいベトナム人を探していると聞いた時、躊躇わなく応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

大学での専攻は農業だったため任期後に母国に帰り、農業・農村開発省の国際協力課に働くことを目指しています。ベトナムにいてもベトナムと日本の友好事業に貢献したいと思っています。また、大崎町はゴミリサイクル日本一の町であるため、帰国後に大崎町の素晴らしさを環境問題が大変となっている母国にも広げていきたいと考えています。

活動内容

●ベトナム語の通訳・翻訳

大崎町役場の広報誌、ゴミ分別ガイドパンフレット、ゴミ分別手引きなどの翻訳をしています。そして、企画課の活動でもあり、役場本館の住民環境課も共に動き、窓口に来られるベトナム人の方々に、また交通安全講座、ゴミ分別講座、防災訓練などで通訳をしています。



●外国人住民の生活の支援

ベトナム人住民とコミュニティを取るため、Facebook への「在大崎町ベトナム人会」を作成し、管理しています。これを通して町内のベトナム実習生の声を聞いて、また夜間にも悩み相談、対面相談などを受けています。



●国際交流・多文化共生の理解の促進

町民の異文化の理解を深めることができるようにベトナム文化紹介、国際交流イベントの企画を立ちあげて、実施しています。町内の在住外国人も日本人と接する機会を増やすため、イベントの一部の内容を担当させます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
大崎町役場 企画政策課
(電話番号) 099-476-1111

基本情報



【年 齢】
34歳
【出身地】
アメリカ・イリノイ州
【転出元】
東京都板橋区
【前 職】
外食業勤務
【活動時期】
R3.10～ R6.9
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

元々、自然に係る仕事をしたいという思いはありましたが、何をしたいのか明確にわかりませんでした。そんな中、コロナの自宅待機で、自分について考え、都会ではなく、田舎で暮らしたいと思うようになりました。そして林業をやりたいと思うようになりましたが、経験がなかったため、一から始める良い方法はないかと、探した結果、地域おこし協力隊の存在を知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

木の伐倒だけでなく、重機など、様々な機械が扱えるようになりたいです。また、木を傷つけたりする、有害鳥獣の駆除などにも、力を入れたいと考えています。

活動内容

●活動内容 伐倒

林業においてもっとも基本的な活動であり、最も重要な活動です。木を切り倒すことで、初めて、その木を材木にしたり、薪にしたりすることが出来るのです。



●活動内容 造材

木を切り倒した後にする、作業です。切るための印をつけたり、余分な枝を切り落としたり、一定の長さに切り分けたりします。これにより、木はようやく商品として、市場に出すことができます。



●活動内容 薪割

木を切り倒した後にする、別の作業です。短く切り分けた木を、斧を使ったり、薪割機を使って、薪にします。これを乾燥させることで、冬を暖かく過ごせます。



連絡先

基本情報



【年 齢】
28歳
【出身地】
中国・四川省
【転出元】
埼玉県熊谷市
【前 職】
外国語指導助手
【活動時期】
R4.8～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

大学生のとき「幸福の黄色いハンカチ」を見て、素朴な風土が残った夕張に深い印象を持ちました。

去年夕張市地域おこし協力隊に着任した友人から、「子ども・子育て支援担当」を募集していると聞き、大学で教育を勉強した私は日本の教育にも関心を持っているので応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

- ① 保育園やこども園、学校と関わる機関などと連携しながら、活動し、子供たちと交流します。
- ② ゆうぱりっこページのFacebookとinstagramを使って、子ども・子育ての情報とイベントの様子などを発信します。
- ③ 夕張市拠点複合施設「りすた」にあるゆうぱりっこひろばで、季節ごとの装飾を行います。
- ④ 冬休みに、子供たちと一緒に化石のレプリカ作りと中国語勉強などを行うつもりです。

活動内容

●教育機関のイベントの補助

保育園やこども園、学校と関わる機関などのイベントに参加して、手伝っています。

例：くれよん会の野菜収穫と料理作り
こじか保育園の遠足と運動会に参加
乳幼児健診の手伝いなど



●SNSの投稿

ゆうぱりっこページのinstagramを作りました。
Facebookと一緒に使って、子ども・子育ての情報とイベントの様子を発信しています。



●ゆうぱりっこひろばの装飾

夕張市拠点複合施設「りすた」にあるゆうぱりっこひろばで、季節ごとの、装飾を行っています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.instagram.com/yubarikko/>
<https://www.facebook.com/yubarikko/>



ゆうぱりっこ
ページ
Instagram



ゆうぱりっこ
ページ
Facebook

基本情報



【年 齢】
40歳
【出身地】
モンゴル国
ウランバートル市
【転出元】
千葉県
【前 職】
会社員
【活動時期】
R2.11～
(3年目)

協力隊に応募したきっかけ

最初は2019年8月に行われた2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプでモンゴル国重量挙げ選手達の通訳で初めて行方市に来ました。その後ネットで地域おこし協力隊の募集を知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

- 1.2022年3月末まで新型コロナウイルスの影響で国内と国際の事業が厳しいなか行方市とモンゴルの交流事業を実施して来ました。
- 2.引き続きモンゴルと日本の架け橋になりながら文化交流、物的交流、人的交流を行います。
- 3.地域おこし協力隊を卒業後は会社を設立したい

活動内容

●モンゴル国文化の紹介

市内小学校・放課後児童クラブでモンゴル語教室を実施（モンゴル語、文化、伝統的なゲーム、音楽）、市内の小中学校の給食にモンゴル料理のメニューを提供、モンゴル国の文化や近年の交流の様子を展示する。



●モンゴル国との交流

2021年4月モンゴルへ柔道着を贈るキャンペーン実施（900着）贈呈式は渋谷の駐日モンゴル大使館に行われた（出席：茨城県モンゴル国ホストタウン桜川市、城里町、行方市）同じく4月にバッチジャルガル駐日モンゴル大使が行方市訪問時にオリンピック聖火リレーのトーチをモンゴルゲルの中に展示する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) seisaku02@city.namegata.lg.jp
(電話番号) 0299-72-0811
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100043226672166>

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
中華人民共和国青海省
(烏蘭県)
【転出元】
京都府京都市
【前職】
無職
(同年度夏までは大学院生)
【活動時期】
R3.3～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

元々大学のゼミで「農村計画」を学んでおり、「地域おこし協力隊」については馴染がありました。今の地域での活動内容などはゼミ先輩から情報共有をいただき、興味があったため応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

面白い地域のキーパーソンと連携や協働をしていただき、地域の大人が持っている知見で将来性に満ちた高校生たちの「社会性」を育てながら、自主的に課題を発掘していく能力を醸成させていきたい。

活動内容

●学校の授業の伴走支援

活動地となる京都府立丹後緑風高等学校網野学舎の課題研究授業の伴走支援を行っています。

市内の高校生などを支援する施設に学生を連れていくことや、学生が実現したいことに対するアドバイスをを行うなど、生徒に寄り添った活動を行っています。



●授業での講演

高校の授業の中で、様々な地域のことを学べる機会を提供することと国際交流の一環として、出身地の中華人民共和国青海省についての講演を行いました。学生にとって、今まで知らなかった土地のことを、直接住んでいた人から学べる機会となり、学生の将来の選択肢を広げることにつなげています。



●地域人材と高校生のコーディネート

生徒が自発的に考案したプロジェクトや商品開発提案を相応しい地域の人材へマッチングし、実社会へフィールドワークの企画と伴走支援を行っています。地域社会で積極的に活動されている大人たちと出会い、多様な価値観や生き方を体感し、高校生の今後のキャリアデザインに繋がるように試みしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) kikaku@city.kyotango.lg.jp
(電話番号) 0772-69-0120
(職場) 京丹後市役所 市長公室 政策企画課